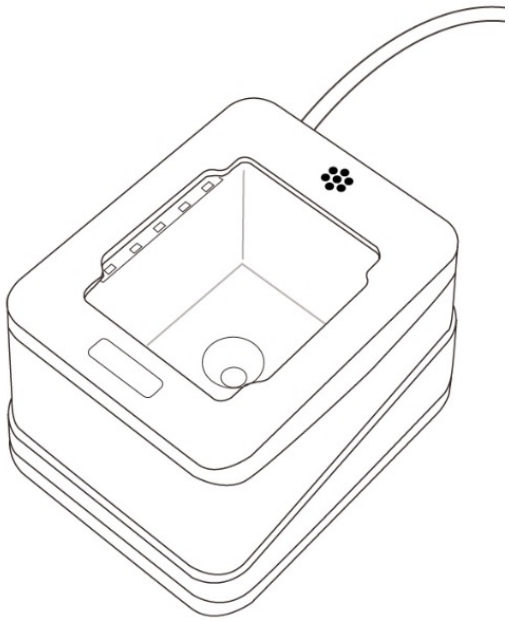
【型番】
USB　：A-860U（W）ホワイト　　A-860U（B）ブラック
RS232C：A-860R（W）ホワイト　　A-860R（B）ブラック

据え置き型１次元/２次元 スキャナー

A-860

詳細設定マニュアル



Ver 2.1

改定履歴

Ver	発行日	改定履歴
1.0	2018/10/03	初版発行 FW:SV1.7JP
2.0	2018/12/19	3.9　ボーレート設定（RS232C 仕様のみ）追加 3.10　RS232C　ピンアサイン RS232C FW：SV1.8JP
2.1	2019/03/11	A-860U　FW:SV1.8JP に変更 A-860R と統一の為（機能変更なし）

目次

1. 同梱品 7
- 1.1 同梱品 7
- 1.2 トリガーボタンの説明 7

2. システム設定 8
- 2.1 ファームウェアーバージョン表示 8
- 2.2 工場出荷時の状態に戻す 8

3. 基本設定 9
- 3.1 読取りビープ音有無設定 9
- 3.2 読取りビープ音設定 9
- 3.3 読取りビープ音長設定 10
- 3.4 スキャンモード設定 11
- 3.5 物体検知モード時の LED 設定 11
- 3.6 LED センサー感度レベル設定 （初期値：中） 12
- 3.7 LED センサー感度レベル詳細設定（設定範囲：23(17h)～250(FA)） 13
- 3.8 LED 点灯時間設定 （初期値：3 秒 設定範囲：1～25.5 秒） 14
- 3.9 ボーレート設定（RS232C 仕様のみ） 15
- 3.10 RS232C ピンアサイン 16

4. キーボード設定 17
- 4.1 キーボード言語設定 17
- 4.2 大文字/小文字の変換 17
- 4.3 文字間遅延設定（USB 仕様のみ） 18
- 4.4 同一コード読取り遅延設定（初期値：1.5 秒 設定範囲：0～25.5 秒） 19

5. バーコード設定 20
- 5.1 改行コード設定 20
- 5.2 コード ID 送信設定 21
- 5.3 白黒反転 2D コード設定 22

6. JAN-13 の設定 23
- 6.1 JAN-13 読取り 23
- 6.2 JAN-13 チェックデジット 23
- 6.3 JAN-13 2 桁のアドオンコード読取り 24
- 6.4 JAN-13 5 桁のアドオンコード読取り 24

7. JAN-8 の設定 25
・7.1 JAN-8 読取り 25
・7.2 JAN-8 チェックデジット 25
・7.3 JAN-8 2桁のアドオンコード読取り 26
・7.4 JAN-8 5桁のアドオンコード読取り 26
・7.5 JAN-8 を JAN-13 に変換 27
8. UPC-A の設定 28
・8.1 UPC-A 読取り 28
・8.2 UPC-A チェックデジット 28
・8.3 UPC-A 2桁のアドオンコード読取り 29
・8.4 UPC-A 5桁のアドオンコード読取り 29
・8.5 UPC-A を JAN-13 に変換 30
9. UPC-E の設定 31
・9.1 UPC-E 読取り 31
・9.2 UPC-E チェックデジット 31
・9.3 UPC-E 2桁のアドオンコード読取り 32
・9.4 UPC-E 5桁のアドオンコード読取り 32
・9.5 UPC-E を UPC-A に変換 33
・9.6 UPC-E NS（先頭の「0」）送信設定 33
10. ISBN の設定 34
・10.1 ISBN 読取り 34
・10.2 ISBN 「978」出力設定 34
11. Code39 の設定 35
・11.1 Code39 読取り 35
・11.2 Code39 チェックデジット 35
・11.3 Code39 スタート(*) / ストップ(*) コード 36
・11.4 Code39 フォーマット 36
12. Code128 の設定 37
・12.1 Code128 読取り 37
・12.2 GS1-128 読取り 37
13. Codabar / NW-7 の設定 38
・13.1 Codabar / NW-7 読取り 38
・13.2 Codabar / NW-7 チェックデジット 38
・13.3 Codabar / NW-7 スタート / ストップ コード 39
・13.4 Codabar / NW-7 スタート / ストップ コード キャラクタタイプ 39

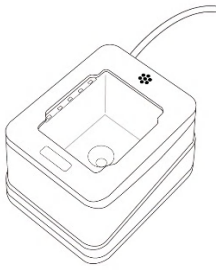
14. Interleaved 2 of 5 (ITF)の設定 40
・14.1 Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取り 40
・14.2 Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット 40
・14.3 ITF-6 読取りとチェックデジット 41
・14.4 ITF-14 読取りとチェックデジット 42
15. Industrial 2 of 5 の設定 43
・15.1 Industrial 2 of 5 読取り 43
・15.2 Industrial 2 of 5 チェックデジット 43
16. Matrix 2 of 5 の設定 44
・16.1 Matrix 2 of 5 読取り 44
・16.2 Matrix 2 of 5 チェックデジット 44
17. Code93 の設定 45
・17.1 Code93 読取り 45
・17.2 Code93 チェックデジット 45
18. Code11 の設定 46
・18.1 Code11 読取り 46
・18.2 Code11 チェックデジット 46
・18.3 Code11 チェックデジット計算方式 47
19. GS1 Data Bar (RSS)-14 の設定 48
・19.1 GS1 Data Bar (RSS)-14 読取り 48
・19.2 GS1 Data Bar (RSS)-14 AI「01」 送信 48
20. GS1 Data Bar (RSS)-Limited の設定 49
・20.1 GS1 Data Bar (RSS)-Limited 読取り 49
・20.2 GS1 Data Bar (RSS)-Limited AI「01」 送信 49
21. GS1 Data Bar (RSS)-Expanded の設定 50
・21.1 GS1 Data Bar (RSS)-Expanded 読取り 50
22. QR Code の設定 51
・22.1 QR Code 読取り 51
・22.2 Micro QR Code 読取り 51
23. Data Matrix の設定 52
・23.1 Data Matrix 読取り 52
24. PDF417 の設定 52
・24.1 PDF417 読取り 52
25. 先頭/末尾に文字を付加する(プリフィックス/サフィックス) 53

付録１：16 進バーコード　(0～5) 54
付録１：16 進バーコード　(6～9) 55
付録１：16 進バーコード　(A～F) 56
付録２：ASCII テーブル 57
付録３：Code 39 Full ASCII Table 58

1. 同梱品

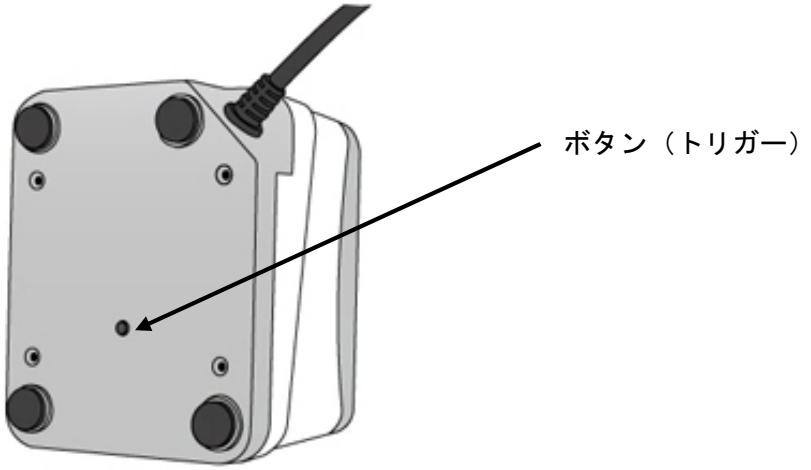
・1.1　同梱品

製品箱には以下のものが入っています。
不足や破損がございましたら弊社までご連絡ください。

 スキャナー本体 (USB ケーブル付き) （RS232C ケーブル付き）	 簡易設定マニュアル (製品保証書付)

・1.2　トリガーボタンの説明

設定バーコードの読取りが悪い時には、底面にあるボタン（トリガー）を押しながら設定バーコードをスキャンしてください。



2. システム設定

・2.1　ファームウェアーバージョン表示

手順：USB の場合
　　メモ帳等のテキストエディターを開き下記バーコードをスキャンします。
手順：RS232C の場合
　　Tera Term 等のターミナルエミュレーターを開き下記バーコードをスキャンします。

バージョン情報

WFFD982

・2.2　工場出荷時の状態に戻す

工場出荷時の状態

WFFD980

※上記バーコードをスキャン後、しばらくするとビープ音が鳴り、工場出荷時の状態に戻ります。

3. 基本設定

・3.1　読取りビープ音有無設定

有効

W400040

無効

W400000

・3.2　読取りビープ音設定

※初期値のビープ音に戻すには【2.2 工場出荷時の状態に戻す】のバーコードをスキャンする必要があります。
他に設定した値も工場出荷時の状態に戻りますのでご注意願います。

ビープ音 A（低）

WFF09DA

ピープ音 B（高）

WFF094B

ビープ音 C（小）

WFF0925

・3.3　読取りビープ音長設定

40 ms

WFF0A1F

80 ms

WFF0A3E

120 ms

WFF0A5D

・3.4　スキャンモード設定

連続モード

※LED ライトは常に点灯します。

W030002

物体検知モード

W030003

・3.5　物体検知モード時の LED 設定

※【3.4 スキャンモード設定】で「物体検知モード」に設定をした時に有効な設定です。

常にオフ

W0C0000

常にオン

W0C000C

オート

W0C0004

・3.6　LED センサー感度レベル設定　（初期値：中）

※【3.4 スキャンモード設定】で「物体検知モード」
【3.5 物体検知モード時の LED 設定】で「オート」に設定をした時に有効な設定です。
設定手順：「感度レベル設定」→ それぞれの設定の①→②の順にスキャンします。

感度レベル設定

M00031A

超高：30（1E）	
①	②
D000001	D00000E

高：60（3Ch）	
①	②
D000003	D00000C

中：120（78h）	
①	②
D000007	D000008

低：240（F0h）	
①	②
D00000F	D000000

・3.7　LED センサー感度レベル詳細設定（設定範囲：23(17h)～250(FA)）

※【3.4 スキャンモード設定】で「物体検知モード」
【3.5 物体検知モード時の LED 設定】で「オート」に設定をした時に有効な設定です。
【3.6 LED センサー感度レベル設定】にある設定値以外を設定したい場合にご使用ください。
本製品をお使い頂く環境によって適正な設定値を調整してください。

感度レベル設定

M00031A

例）設定値を 50 にする場合は、「感度レベル設定」→「3」→「2」の順にスキャンします。

0 D000000	1 D000001
2 D000002	3 D000003
4 D000004	5 D000005
6 D000006	7 D000007
8 D000008	9 D000009
A D00000A	B D00000B
C D00000C	D D00000D
E D00000E	F D00000F

・3.8　LED 点灯時間設定　（初期値：3 秒　　設定範囲：1～25.5 秒）

※【3.4 スキャンモード設定】で「物体検知モード」
【3.5 物体検知モード時の LED 設定】で「オート」に設定をした時に有効な設定です。
設定手順：「点灯時間設定」→「16 進バーコード」の順にスキャンします。

点灯時間設定

M00031D

【16 進バーコード】
例）100ms 単位で設定　5000ms（5 秒）の場合、「3」→「2」の順にスキャンします。

0 D000000	1 D000001
2 D000002	3 D000003
4 D000004	5 D000005
6 D000006	7 D000007
8 D000008	9 D000009
A D00000A	B D00000B
C D00000C	D D00000D
E D00000E	F D00000F

※16 進バーコード同士の余白が狭く読取り難い場合は、【付録 1：16 進バーコード】をご使用ください。

・3.9　ボーレート設定（RS232C 仕様のみ）

9600

WFF2A03

1200

WFF2A00

2400

WFF2A01

4800

WFF2A02

14400

WFF2A04

38400

WFF2A06

115200

WFF2A08

19200

WFF2A05

57600

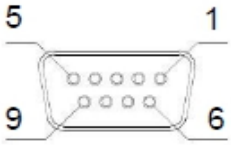
WFF2A07

※下記通信設定は固定値です。
・データビット：8
・ストップビット：1
・パリティ：なし
・ハンドシェイキングプロトコル（フロー制御）：なし

・3.10　RS232C　ピンアサイン

DB 9 Female

Pin No.	Function
2	TXD
3	RXD
5	GND
7	CTS
8	RTS
9	Vcc/+5V
Power Lead	Vcc/+5V



インチネジ　(#4-40)

4. キーボード設定

・4.1　キーボード言語設定

日本語

WFF6B01

英語

WFF6B00

・4.2　大文字/小文字の変換

自動

W386100

大文字に変換

W386120

小文字に変換

W386130

・4.3　文字間遅延設定（USB 仕様のみ）

※出力データが正しくない場合や欠落する場合には、長めに設定してお試しください。

無し

WC06F00

10 ms

WC06F40

20 ms

WC06F80

30 ms

・4.4　同一コード読取り遅延設定（初期値：1.5 秒　設定範囲：0～25.5 秒）

※同一コードの 2 度読みが発生する場合は、設定時間を長めに設定してお試しください。
　設定手順：「遅延設定開始」→「16 進バーコード」の順にスキャンします。

遅延設定開始

M00031B

【16 進バーコード】

例）100ms 単位で設定　5000ms（5 秒）の場合、「3」→「2」の順にスキャンします。

※16 進バーコード同士の余白が狭く読取り難い場合は、【付録 1：16 進バーコード】をご使用ください。

0 D000000	1 D000001
2 D000002	3 D000003
4 D000004	5 D000005
6 D000006	7 D000007
8 D000008	9 D000009
A D00000A	B D00000B
C D00000C	D D00000D
E D00000E	F D00000F

5. バーコード設定

5.1　改行コード設定

無し

W616000

ＣＲ

W616001

ＣＲ＋ＬＦ

W616021

ＴＡＢ

W616041

5.2　コード ID 送信設定

無効

W800200

※「有効」に設定する場合は、①→②の順にスキャンします。

①有効

W800280

②有効

W018A01

ｺｰﾄﾞ ID	バーコード種	ｺｰﾄﾞ ID	バーコード種
E(0x45)	JAN-13	X(0x58)	Industrial 2 of 5
D(0x44)	JAN-8	Y(0x59)	Matrix 2 of 5
G(0x47)	UPC-A	Q(0x51)	Code93
F(0x46)	UPC-E	](0x5d)	Code11
W(0x47)	ISBN	Z(0x5a)	GS1 Data bar
M(0x4d)	Code39	[(0x5b)	GS1 Data bar Limited
B(0x42)	Code128	¥(0x5c)	GS1 Data bar Expanded
C(0x41)	GS1-128	a(0x61)	QR コード、Micro QR
O(0x4f)	Codabar / NW-7	c(0x63)	Data Matrix
H(0x48)	Interleaved 2 of 5 (ITF)	`(0x60)	PDF417
I(0x49)	ITF-14		
J(0x4a)	ITF-6		

5.3　白黒反転 2D コード設定

※2 次元コードのみに有効な設定です。

無効

W100200

有効

W100210

6. JAN-13 の設定

・6.1　JAN-13 読取り

有効

W011101

無効

W011100

・6.2　JAN-13 チェックデジット

送信する

W041104

送信しない

W041100

・6.3　JAN-13　2 桁のアドオンコード読取り

無効

W101100

有効

W101110

・6.4　JAN-13　5 桁のアドオンコード読取り

無効

W201100

有効

W201120

7. JAN-8 の設定

・7.1　JAN-8 読取り

有効

W011301

無効

W011300

・7.2　JAN-8 チェックデジット

送信する

W041304

送信しない

W041300

・7.3　JAN-8　2 桁のアドオンコード読取り

無効

W101300

有効

W101310

・7.4　JAN-8　5 桁のアドオンコード読取り

無効

W201300

有効

W201320

・7.5　JAN-8 を JAN-13 に変換

有効：JAN-8 のデータ(8 桁)の先頭に「0」を付加し、JAN-13 のデータ(13 桁)を出力します。
無効：JAN-8 のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

無効

W401300

有効

W401340

8. UPC-A の設定

・8.1　UPC-A 読取り

※UPC-A の読取りを「無効」に設定した場合、先頭に「0」を付加して JAN-13 として出力します。

有効

W011401

無効

W011400

・8.2　UPC-A チェックデジット

送信する

W041404

送信しない

W041400

・8.3　UPC-A　2 桁のアドオンコード読取り

無効

W201400

有効

W201420

・8.4　UPC-A　5 桁のアドオンコード読取り

無効

W401400

有効

W401440

・8.5　UPC-A を JAN-13 に変換

有効：UPC-A のデータ(12 桁)の先頭に「0」を付加し、JAN-13 のデータ(13 桁)を出力します。
無効：UPC-A のデータ(12 桁)をそのまま出力します。

無効

W081400

有効

W081408

9. UPC-E の設定

・9.1　UPC-E 読取り

有効

W011501

無効

W011500

・9.2　UPC-E チェックデジット

送信する

W041504

送信しない

W041500

・9.3　UPC-E　2 桁のアドオンコード読取り

無効

W201500

有効

W201520

・9.4　UPC-E　5 桁のアドオンコード読取り

無効

W401500

有効

W401540

・9.5　UPC-E を UPC-A に変換

有効：UPC-E のデータを UPC-A のデータ(12 桁)に変換しデータを出力します。
無効：UPC-E のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

無効

W801500

有効

W801580

・9.6　UPC-E NS（先頭の「0」）送信設定

先頭「0」を送信しない

W081500

先頭「0」を送信する

W081508

10.ISBN の設定

・10.1　ISBN 読取り

※ISBN の読取りを「無効」に設定した場合、JAN-13 として出力します。

有効

W011201

無効

W011200

・10.2　ISBN 「978」出力設定

※ISBN の読取りを「有効」に設定した時に有効な設定です。
例）「978」出力する　：9783161484100
　　「978」出力しない：316148410X

「978」出力する

W041200

「978」出力しない

W041204

11.Code39 の設定

・11.1　Code39 読取り

※最小読取り桁数：2 桁（スタート/ストップコード含まず）

有効

W011C01

無効

W011C00

・11.2　Code39 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W081C00

計算する + 送信しない

W181C08

計算する + 送信する

W181C18

・*11.3　Code39 スタート(*) ／ ストップ(*) コード*

送信しない

W041C00

送信する

W041C04

・*11.4　Code39 フォーマット*

標準

W201C00

Full ASCII

W201C20

12. Code128 の設定

※チェックデジットが付加されていない Code128 の読取りはできません。

・12.1　Code128 読取り

※最小読取り桁数：1 桁（チェックデジット含まず）

有効

W011601

無効

W011600

・12.2　GS1-128 読取り

※GS1-128 の読取りを「無効」に設定した場合、Code128 として出力します。

有効

W011701

無効

W011700

13.Codabar ／ NW-7 の設定

・13.1　Codabar ／ NW-7 読取り

※最小読取り桁数：4 桁（スタート/ストップコード含める）

有効

W011E01

無効

W011E00

・13.2　Codabar ／ NW-7 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W101E00

計算する(モジュラス 16) + 送信しない

W301E10

計算する(モジュラス 16) + 送信する

W301E30

・*13.3　Codabar ／ NW-7 スタート ／ ストップ コード*

送信しない

W021E00

送信する

W021E02

・*13.4　Codabar ／ NW-7 スタート ／ ストップ コード キャラクタタイプ*

ABCD ／ ABCD

W0C1E00

abcd ／ abcd

W0C1E08

ABCD ／ TN*E

W0C1E04

abcd ／ tn*e

W0C1E0C

14.Interleaved 2 of 5 (ITF)の設定

・14.1　Interleaved 2 of 5 (ITF) 読取り

※最小読取り桁数：4桁

有効

W011801

無効

W011800

・14.2　Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W0C1800

計算する + 送信しない

W0C1804

計算する + 送信する

W0C180C

・14.3　ITF-6 読取りとチェックデジット

※ITF-6 の読取りを「無効」に設定した場合、Interleaved 2 of 5 として出力します。

読取り：無効

W011900

読取り：有効
チェックデジット：送信しない

W051901

読取り：有効
チェックデジット：送信する

W051905

・14.4　ITF-14 読取りとチェックデジット

※ITF-14 の読取りを「無効」に設定した場合、Interleaved 2 of 5 として出力します。

読取り：無効

W201800

読取り：有効
チェックデジット：送信しない

WA01820

読取り：有効
チェックデジット：送信する

WA018A0

15.Industrial 2 of 5の設定

・15.1　Industrial 2 of 5 読取り

※最小読取り桁数：3桁

有効

W081908

無効

W081900

・15.2　Industrial 2 of 5 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W201900

計算する + 送信しない

W601920

計算する + 送信する

W601960

16.Matrix 2 of 5の設定

・16.1　Matrix 2 of 5 読取り

※最小読取り桁数：3桁

有効

W011A01

無効

W011A00

・16.2　Matrix 2 of 5 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W041A00

計算する + 送信しない

W0C1A04

計算する + 送信する

W0C1A0C

17.Code93 の設定

・17.1　Code93 読取り

※最小読取り桁数：3 桁（チェックデジット含まず）

有効

W081208

無効

W081200

・17.2　Code93 チェックデジット

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W201200

計算する + 送信しない

W601220

計算する + 送信する

W601260

18.Code11 の設定

・18.1　Code11 読取り

※最小読取り桁数：3 桁（チェックデジット含める）

有効

W011D01

無効

W011D00

・18.2　Code11 チェックデジット

送信する

W201D20

送信しない

W201D00

・18.3　Code11 チェックデジット計算方式

※「計算する」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

計算しない

W1C1D00

1 桁(MOD11) 計算する

W1C1D04

2 桁(MOD11/MOD11) 計算する

W1C1D08

2 桁(MOD11/MOD9) 計算する

W1C1D0C

1 桁(10 桁以下 = MOD11)
2 桁(10 桁以上 = MOD11/MOD11)

W1C1D10

1 桁(10 桁以下 = MOD11)
2 桁(10 桁以上 = MOD11/MOD9)

W1C1D14

19.GS1 Data Bar (RSS)-14 の設定

・19.1　GS1 Data Bar (RSS)-14 読取り

有効

W011B01

無効

W011B00

・19.2　GS1 Data Bar (RSS)-14 AI「01」 送信

送信する

W041B04

送信しない

W041B00

20.GS1 Data Bar (RSS)-Limitedの設定

・20.1　GS1 Data Bar (RSS)-Limited 読取り

有効

W081B08

無効

W081B00

・20.2　GS1 Data Bar (RSS)-Limited AI「01」 送信

送信する

W201B20

送信しない

W201B00

21.GS1 Data Bar (RSS)-Expanded の設定

・21.1 GS1 Data Bar (RSS)-Expanded 読取り

有効

W401B40

無効

W401B00

22.QR Code の設定

・22.1　QR Code 読取り

有効

W800D80

無効

W800D00

・22.2　Micro QR Code 読取り

有効

W049904

無効

W049900

23.Data Matrix の設定

・*23.1　Data Matrix 読取り*

有効

W080C08

無効

W080C00

24.PDF417 の設定

・*24.1　PDF417 読取り*

有効

W010C01

無効

W010C00

25. 先頭/末尾に文字を付加する(プリフィックス/サフィックス)

※先頭/末尾にそれぞれ最大 5 文字まで設定が可能です。
手順：①→②→③の順にバーコードをスキャンします。
①先頭/末尾それぞれの「付加する/しない」を選択し、バーコードをスキャンします。
「ピロッ」と 1 回ビープ音が鳴ります。

先頭に文字を付加する W04E104	先頭に文字を付加しない W04E100
末尾に文字を付加する W08E108	末尾に文字を付加しない W08E100

②先頭/末尾に付加する文字を設定します。
先頭/末尾を選択し、それぞれの「設定開始」バーコードをスキャンします。
「ピッ」と 1 回ビープ音が鳴ります。

先頭に付加する文字 「設定開始」 M000100	末尾に付加する文字 「設定開始」 M000101

③付加する文字を【付録 2：ASCII テーブル】から選択し【付録 1：16 進バーコード】をスキャンします。
例）「ABC」を付加する場合
1. 「4」・・・「ピッ」　と 1 回ビープ音が鳴ります
2. 「1」・・・「ピロッ」と 1 回ビープ音が鳴ります
3. 「4」・・・「ピッ」　と 1 回ビープ音が鳴ります
4. 「2」・・・「ピロッ」と 1 回ビープ音が鳴ります
5. 「4」・・・「ピッ」　と 1 回ビープ音が鳴ります
6. 「3」・・・「ピロッ」と 1 回ビープ音が鳴ります

の順に【16 進バーコード】をスキャンします。

付録 1：16 進バーコード　(0～5)

0

D000000

1

D000001

2

D000002

3

D000003

4

D000004

5

D000005

付録 1：16 進バーコード　(6～9)

6

D000006

7

D000007

8

D000008

9

D000009

付録 1：16 進バーコード　(A～F)

A

D00000A

B

D00000B

C

D00000C

D

D00000D

E

D00000E

F

D00000F

付録 2：ASCII テーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

付録 3：Code 39 Full ASCII Table

【11.4 Coded39 フォーマット】で「Full ASCII」に設定してください。

ASCII	Code39	ASCII	Code39	ASCII	Code39
SP	スペース	@	%V	`	%W
!	/A	A	A	a	+A
"	/B	B	B	b	+B
#	/C	C	C	c	+C
$	/D	D	D	d	+D
%	/E	E	E	e	+E
&	/F	F	F	f	+F
'	/G	G	G	g	+G
(	/H	H	H	h	+H
)	/I	I	I	i	+I
*	/J	J	J	j	+J
+	/K	K	K	k	+K
,	/L	L	L	l	+L
-	－	M	M	m	+M
.	.	N	N	n	+N
/	/O	O	O	o	+O
0	0	P	P	p	+P
1	1	Q	Q	q	+Q
2	2	R	R	r	+R
3	3	S	S	s	+S
4	4	T	T	t	+T
5	5	U	U	u	+U
6	6	V	V	v	+V
7	7	W	W	w	+W
8	8	X	X	x	+X
9	9	Y	Y	y	+Y
:	/Z	Z	Z	z	+Z
;	%F	[	%K	{	%P
<	%G	¥	%L	|	%Q
=	%H	]	%M	}	%R
>	%I	^	%N	~	%S
?	%J	_	%O		